

【有料会告】

九州工業大学宇宙システム工学 教員公募 (宇宙工学、宇宙理学、宇宙利用)

1. 公募する職名・人数：准教授あるいは助教1名
2. 所属部門：工学研究院・宇宙システム工学研究系
3. 部署 URL：<https://www.space.tobata.kyutech.ac.jp/>

4. 募集の背景と専門分野：

九州工業大学工学部では平成30年4月に宇宙システム工学科を設置しました。同学科は、日本で唯一の宇宙工学に特化した学科であり、本学がミッションの再定義で航空宇宙工学を重点分野としたことに基づいています。宇宙システム工学科は、衛星・ロケット等に関する実践型教育を通じてプロジェクトマネジメント・システム工学的な視野を備えた人材を育成することを教育目的としています。研究面では、宇宙システムに関する研究を推進するとともに、学内の他系の教員および学外諸機関と宇宙利用分野において幅広く連携し、宇宙利用を通じて国内外の社会的課題の解決に寄与することを目的としています。

宇宙システム工学科の教員陣容を強化するため、宇宙分野（宇宙工学、宇宙理学、または宇宙利用）に関する教育研究を推進することに意欲をもつ優秀な人材を広く募集します。

5. 主たる業務：

- (1) 宇宙工学、宇宙理学、または宇宙利用に関する教育と研究を推進する
- (2) 学内外の宇宙関連の教育・研究プロジェクト並びに地域貢献等を推進する
- (3) 工学部における当該専門分野の科目を担当する
- (4) 大学における管理運営の業務を応分に担当する
- (5) 准教授の場合
 - (ア) 宇宙工学国際コースにおける教育を担当する
 - (イ) 工学部における当該専門分野の卒業研究を指導する
 - (ウ) 工学府大学院工学専攻の博士前期課程の研究指導及び、博士後期課程の学生の研究指導の補助を行う
- (6) 助教の場合
 - (ア) 宇宙工学国際コースにおける教育を補助する
 - (イ) 工学部における当該専門分野の卒業研究の指導の補助を行う
 - (ウ) 工学府大学院工学専攻の博士前期課程及び後期課程の学生の研究指導の補助を行う

6. 着任時期：2020年度中のできるだけ早い時期または2021年4月1日

7. 任期：テニュアトラック。

任期は採用後5年間。但し採用後3年目の後半に中間評価を行い、5年目の早い時期にテニュア審査を行い、審査に合格した後、テニュア（任期なし）となる

8. 応募資格：

- (a) 宇宙工学、宇宙理学、または宇宙利用に関する教育研究を推進できること
- (b) 日本語を母語としない場合、英語に堪能であること。また、日本語を母語とするときは、宇宙工学国際コースでの教育に支障のないレベルの英語力を有すること
- (c) 博士号をもつこと（未取得の場合は、着任までに取得できること）

9. 待遇、提出書類等：

詳細な情報は下記をご覧ください。九州工業大学のトップページ->採用情報->教育職員公募

https://www.kyutech.ac.jp/archives/001/202004/202004space_jp.pdf

10. 応募締切：2020年7月31日（金）24:00（日本時間）必着

11. 類送付・問い合わせ先：下記まで、タイトルを「九州工業大学宇宙教員公募」とした上で、電子メールにて送付してください。その際、准教授または助教のいずれに応募するかを明記ください。問合せは電子メールにてお願いします。

九州工業大学工学研究院 趙孟佑 cho@ele.kyutech.ac.jp 電話：093-884-3228

13. 選考方法：書類選考に加え、必要に応じて面接を行います